

# Regeo

デジタルバックミラー

**DMZ-924**

## 取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
本書（取扱説明書）をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。  
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

### 保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 目次

安全上のご注意 (必ずお守りください) .....	1-3	画面モード .....	26
使用上のご注意 (必ずお守りください) .....	4	カメラモード画面 .....	27
注意事項 .....	5-9	カメラファンクション画面 .....	28-29
商品構成一覧表 .....	10	ミラーモード画面 .....	30
各部の名称と動き .....	11-13	設定モード .....	31
取り付け .....	14-15	液晶画面の操作 .....	32
本体取り付け .....	16-18	リバース連動 .....	33-37
シガー電源アダプター .....	19	トラブルシューティング .....	38
リヤカメラ取り付け .....	20-23	製品仕様 .....	39
電源オン/オフ .....	24-25	MEMO .....	40





- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面の画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

## 免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、予めご了承ください。
- 本書の注意事項を含め上記を守られないことによる事故や損害について、弊社は一切の責任を負いませんので、予めご了承ください。
- 本機の故障や使用によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類を使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。


## 安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。  
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。


	<b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	<b>注意</b>	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	<b>禁止</b>	絶対にしていけない事項
	<b>強制</b>	必ず守るべき事項

### 警告


必ず規定容量のヒューズを使用する、  
また、交換は専門技術者に依頼する

-  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。（ヒューズ:2A）


運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を  
及ぼす場所には絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やケガの原因になります。


取り付けには車両の保安部品のボルト  
やナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用すると、事故の原因になります。


運転者は走行中に操作しない、また画像  
表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け、配線後は、車の電装品が正常  
に動作することを確認する。

-  車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにな  
らないように配線する

-  ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き直し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やケガの原因になります。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

- ❗ 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- ❌ 煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店でご相談ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ❌ 小部品を誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う

- ❗ 取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

機器の通風孔を塞がない

- ❗ 機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

DC12V/24Vマイナスアース車で使用する

- ⚠️ DC12V、24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

分解や改造はしない

- ❌ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- 内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ❗ 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子  $\ominus$  を外しておく

- ❗ バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ❗ 配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。



## 安全上のご注意（必ずお守りください）

車載用以外には使用しない

- ❌ 車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない

- ❌ 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

- ❌ ショートや断線により、発煙、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

- ⓘ 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けしない

- ⓘ 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると、内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

- ⓘ 雨や洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

- ⓘ 強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

- ⓘ 雷が鳴りだしたら、シガーアダプターに触れないでください。感電の原因になることがあります。

液晶画面に表示される映像とミラー表示は異なります

- ❌ 液晶画面に表示される映像と鏡面ミラーに映る範囲は異なりますので、あらかじめ違いを確認してください。

システムには限界があります


- ❌ 本製品のカメラ機能は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

## 使用上のご注意（必ずお守りください）


- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 運転者が本機の設定操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中、運転者が本機を注視することは道路交通法に抵触しますので、おやめください。

### 注意


#### 取り付け中はエンジンを切る

-  本機の実装は、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがオンの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。


#### 画質が落ちることがあります

-  トネル入出時、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜など光源が無いなどの条件では、画質が落ちることがあります。


#### 信号機の色を認識できないことがあります

-  LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。


#### 日本国内のみで使用する

-  本機は日本国内のみで使用できます。海外では使用できません。


#### 磁性性があるものに近づけない

-  本機の近くに磁性性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

#### リヤガラスとカメラレンズの表面をきれいにする

-  車のリヤガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに表示できないことがあります。

#### TVやラジオ、GPSアンテナから20cm以上離してください。

-  各種車載機器やアンテナ等から本機を20cm以上離して設置してください。誤動作及びノイズ発生の原因をなることがあります。

## 注意事項

### アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本機の電源がオフとなる可能性があります。
- 車両のバッテリーのコンディション(※)によって、再起動する場合があります。頻繁に再起動する場合、車両バッテリーの電圧をご確認してください。  
※ストップ&ゴーを頻繁に繰り返すような渋滞時や車両のバッテリーを通常時よりも大きく消費する環境時（エアコンやハザード、デフロスター、ワイパー作動時等）に発生する可能性があります。

### スーパーキャパシタについて

- 本機は使用していない状態が長時間続くと、スーパーキャパシタが放電されますので、初めてお使いになられる場合や長期間ご使用されなかった場合は、必ず付属のシガー電源アダプターを車両のシガーソケットに差し込み、十分に充電してからご使用ください。
- 充電時間が短い場合、電源が入らないまたは電源が入っても起動中に電源が落ちてしまう、画面がチラついて見える場合がありますのでご注意ください。  
※充電時間の目安は約1分となります（温度環境により誤差があります）。

### ミラーについて

- 本機のミラーは専用の液晶モニターを採用しているため、ミラーモードにした場合、純正ミラーとは異なった見え方となります。

### シガー電源アダプターについて

- 付属のシガー電源アダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。
- シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。本体への電源供給不足により、正常に動作しない場合があります。また、カメラ映像画面にちらつきが発生する場合や火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガー電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

## 注意事項（つづき）

### 取り付けについて

- 本書の「取り付け」にしたがって、正しく取り付けてください。  
→「P14 取り付け」
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ミラー面には衝撃を与えないでください、破損でけがの原因になります。
- 他の車載器や無線機、テレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などに干渉しない場所へ取り付け・配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。事故の際に、安全装置が正常に動作せず、けがの原因となります。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようご注意ください。また、必ず車内へ取り付けてください。
- カメラを取り付ける前に、必ずガラス面の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- 純正ミラーの形状やミラー周辺の干渉物によっては、取り付けができない場合があります。
- 純正ミラーに取り付ける際は、固定用バンド、スライドアームで確実に取り付けしてください。取り付けに不備があると、走行中に脱落するなど大変危険です。
- 車両の室内ルーフがGPSアンテナに被ってしまう車両はGPSを受信しにくい場合があります。
- 配線処理は、運転の妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っ張られた状態で配線の取り回しを行うと、断線や接触不良により動作が不安定になる可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取り回してください。
- 付属品以外のもは使用しないでください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに鮮明に表示できなくなります。
- 本体および各カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

## 注意事項（つづき）

### 液晶ディスプレイについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。ディスプレイの明るさを調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約-10°C以下または約60°C以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、画像表示が遅延、画像が消えるのに時間を要する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
- 本体の温度が極端に高い場合や低い場合は、カメラ映像が乱れる場合があります。本体が適正な動作仕様温度に戻ると、正常に表示するようになります。
- 使用環境や状況により、太陽光や照明等の直接光、反射光がカメラ視野範囲内に映り込むと液晶画面が見えにくくなる場合があります。
- 夜間など暗い環境下や照明の下などでは、実際の色味などが異なる場合があります。
- ルーフ付車の場合は、画面への映り込み軽減のため、シェードを閉めてご使用ください。
- 通常のミラーとの見え方の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさや距離感が異なって見える場合があります。  
特にカメラ画面（カメラモード）時は、液晶画面に映る車両や障害物が実際の大きさと異なる場合があります。
- 本機は純正ルームミラーとは視界の範囲や実際の距離感と異なります。
- 明るいところから暗いところなどへ移動した場合、急激な明暗の変化時にノイズが発生したり、画面の色調が青くなる・赤くなるといった変化が生じる場合がありますが、これはレンズの性質であり故障ではありません。
- 特に夜間など、光源が極端になくなった状態から急激に光を取り込むと、実際に肉眼で見た場合の色味や明るさと異なる場合があります。
- ディ스플레이が反射して見えにくい場合は、サンシェードを閉めてください。
- 夜間など暗いところでは、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
  - ・ 映像の色と実際の色が異なって見える
  - ・ 後続車のライトの高さなどによっては、後続車の周囲が白くぼやけて見える
  - ・ 液晶の輝度調整をすることにより、特有のちらつきが発生する※映像が見えにくい場合やちらつきが気になる場合は、ミラーモードに切り替えてご使用ください

## 注意事項（つづき）

### 液晶ディスプレイについて

- 本体が発熱することがありますが、異常ではありません。
- 体調、年齢などにより、ディスプレイに表示される映像に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。焦点が合わせづらいと感じたときは、ミラーモード（液晶オフ）に切り替えてください。
- 主に同乗者がディスプレイを凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、実際に見える現実の風景と異なる場合があります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、速度や周囲の環境、光源量により、表示フレームレートの影響に伴い、応答速度が遅くなり滑らかに表示できない場合があります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、トンネルや地下駐車場への進入・退出時など、周囲の光の量の急激な変化により、一時的にノイズを発生する場合があります。
- 液晶ディスプレイ上で長時間連続的な操作を行った際、応答速度に遅延が生じたり、画面にチラつきが発生したりする場合がありますが、これは故障ではありません。予めご了承ください。
- 特に夜間など、光源が極端になくなった場合、画面の色味が変化する場合があります。また、その状態から再度光を取り込むと、実際に肉眼で見た場合の色味や明るさと異なる場合があります。
- 液晶画面の汚れはクリーニングクロスで清掃してください。

### リヤカメラについて

- 本製品専用のリヤカメラとなります。その他の製品(他社製品含む)に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。
- 本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リヤカメラは本体同様、防水構造ではありません（ケーブル含）。必ず車内へ取り付けてください。
- リヤカメラの配線処理の際、ケーブル類が車両のドア開閉の妨げにならないようご注意ください。無理に配線をする、断線等が起き、故障や破損の原因となります。  
※配線処理が困難な場合は、車両販売店や専門業者へお問い合わせください

### カメラレンズについて

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。

## 注意事項（つづき）







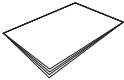
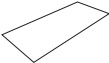
### リバース連動について

- 本機はバックギアに入れる（リバースオン）ことで、車の後方をDISPLAY（液晶）画面で確認することができます（リバース連動機能）。
- リバース連動のカメラ映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。
- 後退する際は、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リバース連動のカメラ映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リバース連動のカメラが映し出す範囲には限界があります。
- リバース連動のカメラ映像に映し出される車幅・距離ガイドラインは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所、天候などの使用（環境）状況により画質が低下する場合があります。
- ガイドラインはあくまで目安となります。
- リバース連動の表示調整や本機の角度調整を行う際は、安全な場所に停車し、サイドブレーキを確実に引いた状態かつ周囲の安全を確かめた上で行ってください。
- リヤカメラの映像は広角レンズを使用していますので、実際の距離と感覚が異なります。必ずゆっくりと運転してください。

# 商品構成一覧表

## 本体および付属品

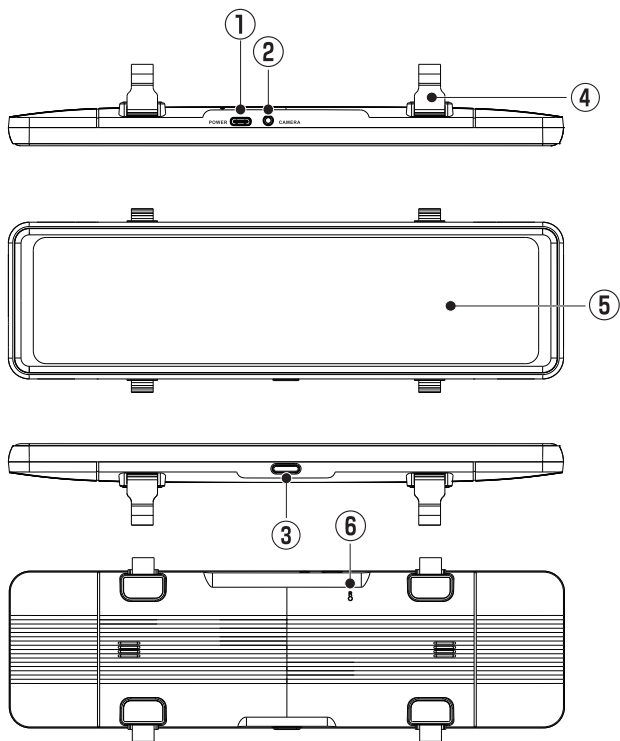
設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。

<p>■ 本体</p> 	<p>■ リヤカメラ</p> 	<p>■ シガー電源アダプター (約3.5m)</p> 
<p>■ リヤカメラ延長ケーブル (約8.5m)</p> 	<p>■ 取り付け用ゴムバンド</p> 	<p>■ クリーニングクロス</p> 
<p>■ 取扱説明書</p> 	<p>■ 保証書</p> 	



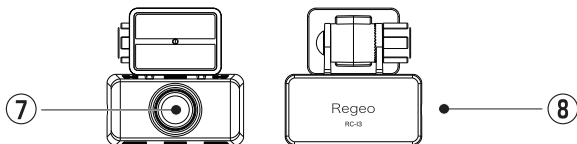
# 各部の名称と働き

## 本体



## 各部の名称と働き（つづき）

### リヤカメラユニット



### 各部の名称と働き

#### ①電源ケーブル接続端子

付属のシガー電源アダプターを接続します(USB Type-C)。

#### ②リヤカメラケーブル接続端子

付属のリヤカメラケーブルを接続します(φ2.5 ミニジャック)。

#### ③MODE(モード)ボタン

<電源オン時>

- ・長押し：電源オフ
- ・短押し：カメラモード/ミラーモードの画面モードを切り替えます

<電源オフ時>

- ・短押し：電源オン

#### ④フックアーム

車両ルームミラーに取り付ける際、フックアームと取り付け用ゴムバンドで本体を固定します。

#### ⑤DISPLAY(液晶)モニター

液晶ディスプレイについては、「P5 注意事項」をよくお読みください。

#### ⑥リセットボタン

本機が動作しなくなった場合や期待しない動作状態になった場合に先の細いピン等で押ししてください。

#### ⑦カメラレンズ

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

#### ⑧リヤカメラケーブル端子

本体からのリヤカメラケーブル端子と接続します。

## 各部の名称と働き（つづき）

### ご注意

- 各接続ケーブル端子を接続（抜き差し）する場合、必ず電源がオフの状態で行ってください。電源が入っている場合に接続（抜き差し）すると、各機器が破損する恐れがあります。

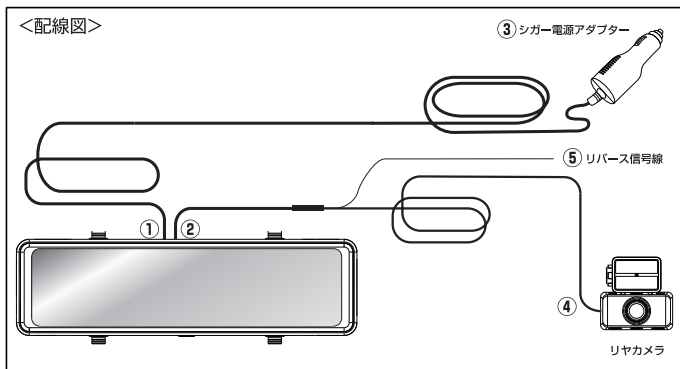
# 取り付け

## 各種ケーブルの接続

本体と各種ケーブル類を接続します。

ケーブルは以下の通り、各用途によって差込口が異なりますので、ご注意ください。

※各プラグを無理に差し込むと破損します。必ず形状を確認して接続してください



### <シガー電源アダプターの接続>

電源ケーブルの**プラグ①**+**プラグ③**を接続します。

**プラグ③**(シガー電源アダプター)は、車両のシガーソケットへ差し込みます。

※電源がオンの状態で各種ケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります

### <リヤカメラの接続>

リヤカメラケーブルの**プラグ②**(R.Camera)+**プラグ④**を接続します。

### <リバース線の接続(リバース運動)> →リバース運動について「P33 リバース運動」

車両のリバース信号線(紫線)と**配線⑤**を接続します。

※バックギア(リバース)をオンした際、バックカメラとしてご使用する場合、この接続が必要となります

※リバース線の接続を行わない場合は、バックギアをオンにしてもリバース運動が作動しません

## 取り付け (つづき)

### ご注意

- 車両ヒューズの無い配線へ接続を行うと火災や故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、ヒューズを外して接続を行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 端子の形状および向きにご注意ください。また、無理に接続したり外そうとすると、本体端子およびケーブル端子が破損する場合があります。
- 各ケーブルを接続および取り外す場合は、車両のエンジンがOFFになっていること、本体の電源がOFFになっていることを確認してください。電源が入った状態で接続を行うと、故障の原因となります。
- ケーブルを無理な力で折り曲げたりしないでください。断線する恐れがあります。無理に曲がった状態で長期間使用しますと、本機およびケーブル破損の原因となります。
- カメラの取り付け位置や角度によって、ケーブルがガラスや車両パーツと干渉する場合があります。その際は、取り付け位置を見直し、干渉しない場所へ設置してください。
- 取り付けおよび配線の取り回しは運転の妨げにならないように行なってください。
- 車両自体の安全装置(エアバッグや安全運転支援システム等)に影響がない場所へ取付けてください。
- 運転に支障をきたす場所へは絶対に配線しないでください。
- ケーブル類はコードクランプやインシュロック等を使用し、取り回しを行ってください。
- 本書のイメージはあくまでも例となります。車両によって接続位置等の場所が異なりますので、車両の取扱説明書をよくお読みになって配線してください。
- 取り付けには専門の知識と技術が必要となりますので、販売店または専門技術者へ依頼してください。

## 本体取り付け

### ご注意

本製品は、車両の純正ルームミラーに取り付けて使用します。それ以外の箇所への取り付けは行わないでください。また、運転手の視界を妨げないようにご注意ください。

## 本体取り付けについて

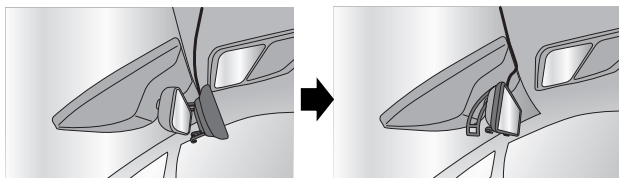
固定用フックアームおよび取り付け用ゴムバンドを使って、車の純正ルームミラーに本機を取り付けます。

※取り付けの際は、ルームミラーに強い荷重が掛からないよう、本機とルームミラーをしっかり支えながら取り付けてください

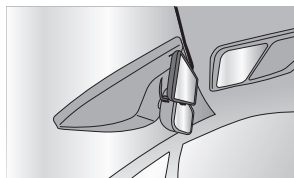
※フックアームを取り付ける際、無理な力を加えないようにご注意ください。ケガおよび破損の原因となります

### ▼本体取り付け方法

1. 固定用バンドをフックアーム上部に引っ掛けます（2箇所）。
2. フックアームを純正ルームミラーを挟み込むように、下側のフックにゴムバンドを巻き込むように引っ掛けます。



3. もう片側も同じ方法で取り付け、本体の位置を調整します。
4. 純正ルームミラーと本体を一緒に持ちながら、本体が確実に装着されていることを確認してください。

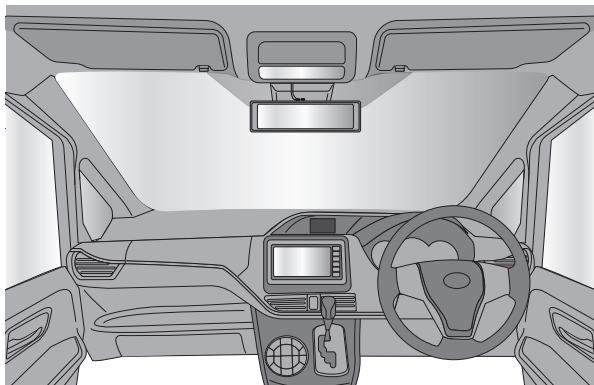


## 本体取り付け（つづき）

### ご注意

付属品の取り付け用ゴムバンドを使用して、しっかりと固定されていることを確認してください。

## 本体取り付けイメージ



## 本体取り付け（つづき）

### ご注意

- 本製品が純正ミラーにしっかりと装着されているか確認の上、ご使用ください。
- 必ず取り付け用ゴムバンドを使用して取り付けてください。走行中に外れる可能性があり、大変危険です。
- ルームミラーの車体への取り付け強度が弱い車種などは、破損やぐらつきの原因となりますので、ご注意ください。
- 取り付け時は、ルームミラーに強い荷重が掛からないように、ルームミラーをしっかりと支えてください。車体への取り付け強度が弱い一部の車種では破損する原因となります。
- 本機は、純正ルームミラーとは視界の範囲や距離感が異なります。
- 本機は、純正ルームミラーに直接取り付けられるため、振動などによりミラーが触れてしまう場合やルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- 走行中、運転者によるミラーの角度調整や操作は絶対に行わないでください。
- 取り付けの際、純正ミラーに負荷が掛からないように、両手で押さえながら作業を行ってください。
- 運転者の視界を妨げないように取り付けをしてください。
- 本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故などの原因になります。
- 取り付けの際、本機の鏡部分（液晶部分）やフレームなどを強く押ししたりしないでください。
- 紫外線の影響により、本体が色褪せる場合があります。
- 各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。  
※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- 電源がオンの状態でケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります。また、本体が自動的に再起動または本体フリーズする場合があります。
- 電源オンの状態で、各種ケーブルや付属品を接続すると、誤動作したり故障する可能性がありますので、おやめください。
- カメラの調整を行う場合は、本製品の液晶画面で映像を確認しながら行ってください。
- 取り付け位置によって、後続車のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けを行なってください。
- 純正ルームミラーが薄い場合、本機の固定部分の内側にはまってしまう、傷がつく恐れがあります。必ず、ゴムの部分で固定するように取り付けしてください。
- 上記の警告・注意に従わない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

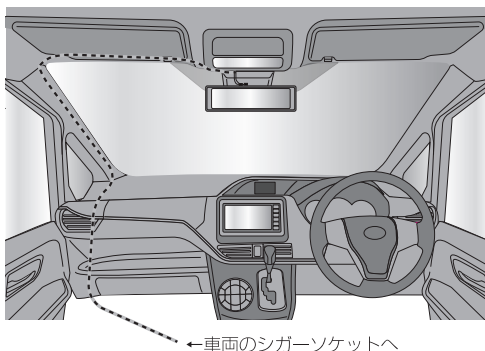


# シガー電源アダプター

## シガー電源アダプターの接続

同梱のシガー電源アダプターを車両のシガーソケットに差し込みます。

※この時、車のエンジンはオフ(アクセサリーオフ)の状態でご接続してください  
(エンジンオン状態で接続すると、破損・故障の原因となります)



### **⚠** ご注意

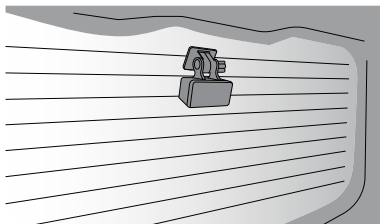
- シガー電源アダプターは必ず付属品をお使いください。
- 付属品以外のシガー電源アダプターを使用した場合、本製品もしくは車両が破損する場合があります。また、動作した場合であっても、電圧の関係上、画面のちらつきが発生する可能性があります。
- シガーソケットを分岐した状態で使用しないでください。分岐された状態で使用すると、電圧の関係上、画面のちらつきが発生する可能性があります。
- シガーライター使用直後は、電源端子が高温になっています。そのままシガー電源アダプターを接続すると先端が溶断・ショートする可能性がありますので、しばらく時間を置いて、熱が冷めた状態でシガー電源アダプターを接続してください。
- 安全に運転するため、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください(必要に応じてインシュロック等で配線してください)。
- 長期間本機を使用しない場合、シガー電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。
- キーを抜いた状態または車両電源がOFF状態でシガープラグに通電している車種は、バッテリー保護のため、エンジン停止時は必ず、シガー電源アダプターを抜いてください。

# リヤカメラ取り付け

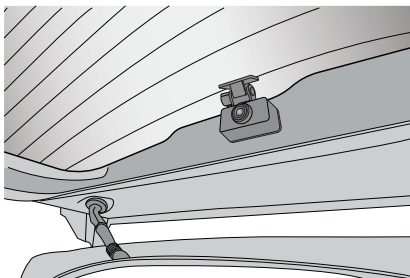
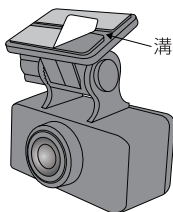
## リヤカメラ取り付け

### ▼リヤカメラ取り付け方法

1. リヤカメラの設置場所を決めます。  
(先に仮止めして設置場所を決めてください)。



2. リヤカメラの粘着シートの保護フィルムを剥がして、リヤガラスに貼り付けます。  
※貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後、両面テープでしっかりとリヤガラスに貼り付けます  
※粘着力を高めるため、リヤカメラ本体を取り付け後、24時間放置することをお勧めいたします

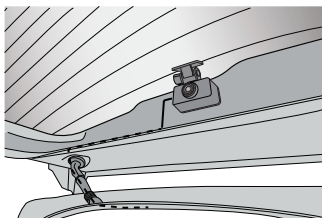
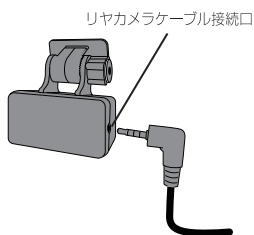


### ⚠️ ご注意

- リヤカメラの粘着シールはリヤウィンドウ・デフォグガー（電熱線）対策シールとなります。電熱線を避けるため、ステー部の溝と電熱線を重ね合わせるようにしてリヤカメラを取り付けてください。

## リヤカメラ取り付け（つづき）

3.リヤカメラケーブルの配線をします。



4.バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認してください。

※リヤカメラおよびケーブルが損傷すると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因になります

※実際の映像を確認しながら取り付けをしてください

### ▼リヤカメラ配線について

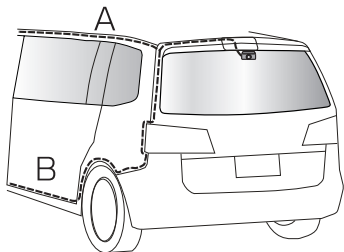
下図イラストでは、

**A:車内上側**

**B:車内下部**

の配線を例としています。

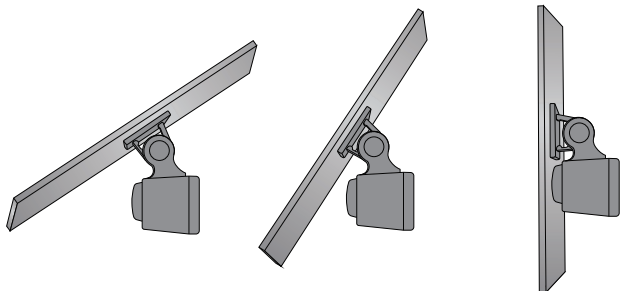
車種（ルーフ形状や内張等）によって、ケーブルの取り回し方が異なりますので、設置の前にご自身のお車に最適な取り回し方をご確認ください。



## リヤカメラ取り付け（つづき）

### ▼リヤカメラ取り付けイメージ

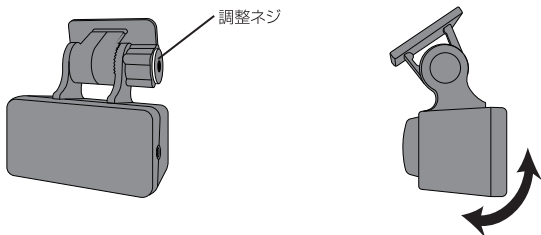
<取り付けイメージ（リヤガラス傾斜パターン）>



車両によってそれぞれリヤガラスの傾斜が異なります

### ▼リヤカメラ角度変更方法

リヤカメラは調整ネジを緩めて、前後方向の角度を調整することができます。角度が決まったら、調整ネジを締めて固定します。



#### **⚠** ご注意

- 必ずステー部分を支えながら角度調整してください。
- レンズ部分に手を触れないでください。
- 運転者は走行中にカメラ調整を行わないでください。
- 調整ネジは強く締めすぎないでください。無理に強く締め付けると破損の原因となります。

## リヤカメラ取り付け（つづき）

### ご注意

- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないように設置および配線をしてください。
- すべての付属品を接続してから、電源を入れてください。
- 電源がオンの状態でケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります。また、本体が自動的に再起動または本体フリーズする場合があります。
- 電源オンの状態で、各種ケーブルや付属品を接続すると、誤動作したり故障する可能性がありますので、おやめください。
- リヤカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまになっていないことを確認してから、取り付けてください。
- リヤカメラケーブルは折り曲がった状態で取り付けをしないでください。ケーブルが断線する恐れがありますので、必ずクリアランスを確保した状態で取り付けを行ってください。
- 取り付け後、両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体が後部ガラスにきちんと貼り付いていないと剥がれることがあります。
- 取り付け位置によって、後方車両のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けを行なってください。
- 高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、後部ガラスの各種アンテナに干渉し、テレビやラジオの受信感度が低下する場合があります。その場合は、各種アンテナから50cm以上離して取付けるか、アンテナを離してください。
- 各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。  
※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- 上記の警告・注意に従われない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

## 電源オン/オフ

### 電源オン

#### ▼エンジン連動

シガー電源アダプターが接続されている状態でエンジンオン（ACCオン）すると、自動的に電源オンとなります。

#### ▼手動による電源オン操作

起動中に本体の[MODE]ボタン長押しで電源オフした後、再度[MODE]ボタンを短押しすると、本機が電源オンとなります。

※エンジンオン状態（ACCオン）かつ意図的に[MODE]ボタンで電源をオフした場合のみ、有効な操作となります



### 電源オフ

#### ▼エンジン連動(シガー電源アダプター使用時)

エンジンオフ（ACCオフ）すると、本機の電源がオフとなります。

#### ▼手動による電源オフ操作

電源オン時に本体の[MODE]ボタンを長押しすると、本機の電源がオフとなります。

## 電源オン/オフ (つづき)

### ご注意

#### <エンジン連動オン機能について>

- 本機は、エンジン連動機能が搭載されているため、車のエンジンオンで自動的に電源が入るようになります。また、車のエンジンをオフにすることで、自動的に電源がオフとなります。  
※車種によっては、車両システムの影響からエンジン連動しない場合があります。あらかじめご了承ください
- お買い上げ時や長期間、本製品をご使用にならなかった等により、本体のスーパーキャパシタの充電不足により、電源オンしても数十秒間電源が入らない場合があります。この場合、約1分程度通電をすると電源が入ります。

#### <アイドリングストップ車での電源オフについて>

- アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品が再起動する場合があります（バッテリーや配線を見直しをしてください）。

#### <電源オフ/オンのタイミングについて>

- 本機の電源をオフした直後は、電源保護回路が働くため、オフ直後に再度電源をオンした場合、電源が入らない場合があります。電源をオフにしてから約10秒以上経過した上で、再度、電源をオンするようにしてください。
- オープニング画面中に電源ボタンを長押しすると本機が再起動する場合がありますが、これは電源保護回路が働くためであり、故障ではありません。

## 画面モード

### 画面モード

本機は、カメラ映像が表示されている「カメラモード」とDISPLAY画面をオフにしたルームミラー状態の「ミラーモード」の二つのモードを切り替えることができます。

#### <カメラモード>

DISPLAY（液晶）画面にリヤカメラ映像を表示させることができます。

また、DISPLAY（液晶）画面をタッチすることで各種操作を行うことができます。

#### <ミラーモード>

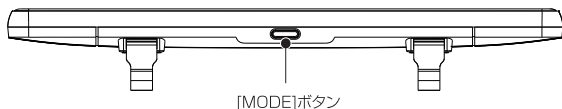
DISPLAY（液晶）画面をオフにします（ルームミラーとして使用します）。

### 画面モードの切り替え

画面モードを切り替えたい場合は、本体下部にある[MODE]ボタンを押して切り替えることができます。

[MODE]ボタンを押すたびに、以下の順番で画面モードが切り替わります。

カメラモード → ミラーモード → カメラモード → ミラーモード・・・





# カメラモード画面

## カメラモード画面

カメラモード画面とは、リヤカメラ映像表示中の基本画面のことです。



### ①DISPLAY (液晶) 画面

DISPLAY をタッチすると、カメラファンクション画面に切り替わります。

#### ご注意

- リヤカメラが接続されていない場合、カメラ映像は表示されませんので、リヤカメラが正しく接続されていることを確認してください。
- リヤカメラが接続されていない場合、表示状態は黒画面となります。

## カメラファンクション画面

### カメラファンクション画面表示方法

#### ▼カメラファンクション画面表示方法

カメラモード画面中、DISPLAY（液晶）画面をタッチするとカメラファンクション画面が表示されます。

<カメラモード画面>



画面をタッチ



<カメラファンクション画面>



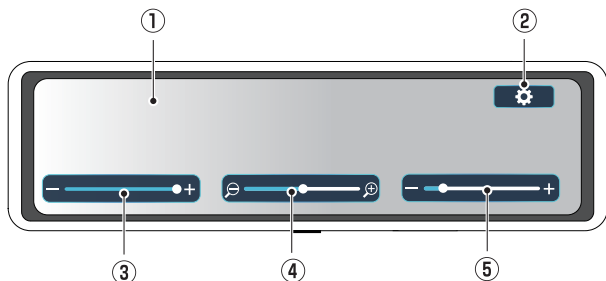
各ボタンが表示される



#### ご注意

- 再度、画面をタッチするとカメラモード画面切り替わります。もしくは、カメラファンクション画面のまま約4秒間何も操作が行われないと、カメラモード画面に自動的に戻ります。

### カメラファンクションボタンの各動き



#### ①DISPLAY(液晶)

画面をタッチすると、カメラモード画面に切り替わります。

#### ②設定ボタン

設定モードに切り替えます。

## カメラファンクション画面（つづき）

### ③GAIN 調整

カメラの GAIN(露出)を調整します。

露出を上げることでカメラの明るさをアップすることができます。

※リヤウィンドウがスモークガラスの場合、この機能でお好みの値に調整してください

- ・ GAIN UP : 「+」をタッチ(+方向へスライド)する
- ・ GAIN DOWN : 「-」をタッチ(-方向へスライド)する

### ④ズーム調整

DISPLAY 表示の ZOOM を 10 段階で調整することができます。

- ・ ZOOM IN : 「+」をタッチ(+方向へスライド)する
- ・ ZOOM OUT : 「-」をタッチ(-方向へスライド)する

### ⑤明るさ調整

DISPLAY(液晶画面)の明るさを調整します。

- ・ 明るさ UP : 「+」をタッチ(+方向へスライド)する
- ・ 明るさ DOWN : 「-」をタッチ(-方向へスライド)する

#### ご注意

- ズームは倍率を上げるにつれて表示物の画質が粗くなります。
- 常に明るさを最大値にしておくと、液晶画面の焼きつきが発生する可能性がありますので、ご注意ください。
- 運転者は走行中に各操作を行わないでください。

## ファンクションバーの操作方法

各機能を調整する場合は以下の方法で調整します。

- ・ +/- ボタンをタッチする



- ・ スライダーバーを左右にスライド（スワイプ）する



## ミラーモード画面

### ミラーモード画面

ミラーモード画面とは、通常のみラー状態のことです。  
画面をタッチすると、カメラモード画面に切り替わります。



#### ご注意

- 本製品は専用の液晶モニターを採用しているため、ミラーの見え方が純正ミラーとは異なる見え方になります。

## 設定モード

### 設定モード表示方法

1. 本カメラファンクション画面の[設定]ボタンをタッチすると、設定モードに切り替わります。

<カメラファンクション画面>



[設定]ボタンをタッチ

<設定モード画面>



### 設定内容

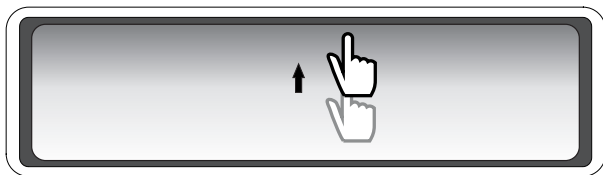
項目	設定値	設定内容
リヤカメラ鏡像	オフ オン	リヤカメラ映像の正像・鏡像選択をします。
リバース連動	オフ オン	リバースギアをオンにした場合、DISPLAYにリバース映像を表示する（オン）、しない（オフ）を設定します。
ガイドライン調整	—	リバース連動調整画面へ切り替えます。 →リバースガイドライン設定について「P33 リバース連動」
フリッカレス	50Hz 60Hz	ちらつきを防止します。 東日本：50Hz/西日本：60Hz
表示言語	日本語 English 中文	言語を選択します。
システム情報	—	システム情報を表示します。
設定初期化	キャンセル OK	本体の設定を全て初期化し、工場出荷状態に戻します。

## 液晶画面の操作

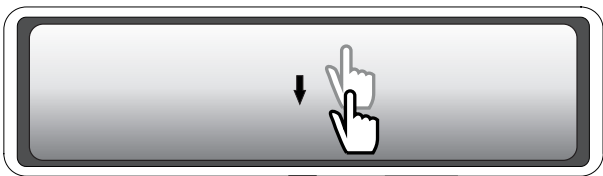
### 映像表示位置調整

カメラモード画面またはカメラファンクション画面時にDISPLAY（液晶）部分を上下にドラッグ操作することで、カメラ映像の可視角度を調整することができます。

- 画面下側から上側へドラッグ操作するとカメラ画面が**下向き**に変わる



- 画面上側から下側へドラッグ操作するとカメラ画面が**上向き**に変わる



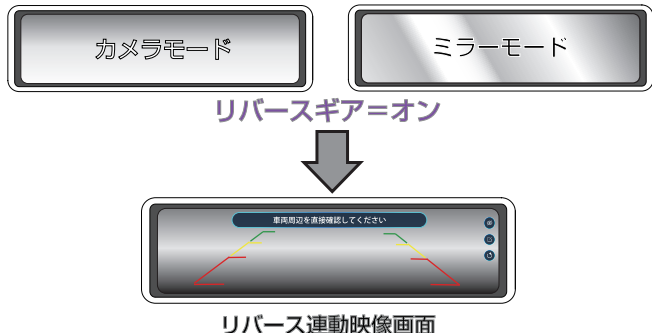
## リバース連動

### リバース連動とは

車両のリバース信号がオンになった際（バックギアに入れた場合）、自動的にリヤカメラ映像を表示させる機能です。リバース連動の動作条件を満たしている場合は、画面モードがどの画面モードであっても、自動的にリヤカメラ映像に切り替わります。また、リバース連動が作動した場合、リヤカメラの映像表示角度をお好みの角度に調整することが可能です。

※通常のカメラモード（リヤカメラ映像）とリバース連動したリヤカメラ画面では、画面の扱いが異なります

### リバース連動操作方法



### ▼リバース連動映像画面表示方法

1. リバース（バック）ギアをオンにする
2. 自動的にリバース連動映像画面に切り替わる  
※画面モードがどの状態であっても、自動的に切り替わります

### ▼動作条件

リバース連動機能を使用するには、リバース信号線を車両のリバース信号に接続する必要があります。

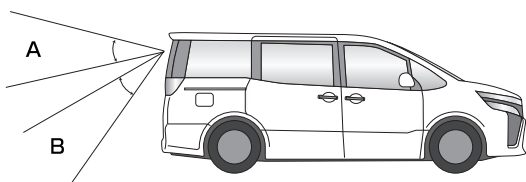
→接続配線図について「P14 取り付け」

## リバース連動（つづき）

### リバース連動時の映像表示について

通常のカメラモード（リヤカメラ映像）で表示されている画面表示位置（画面角度）とリバース連動で表示されるリヤカメラの映像画面表示位置（角度）は、別の角度で表示させることが可能です。

例えば、カメラモードのリヤカメラ映像は後方の車両を表示する角度にして、リバース連動時のリヤカメラ映像は、一般的なバックカメラと同じように下向きに表示する角度に調整して、使い分けることができます。そのため、後退する際、障害物などが確認しやすくなります。



- A：カメラモード映像表示角度  
B：リバース連動で表示される映像表示角度

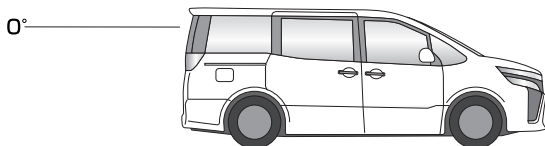
### リバース連動時の角度メモリについて

リバース連動時のカメラ表示位置（角度）は、通常のカメラモード（リヤカメラ映像）の表示位置（角度）と別々にメモリ保存することができます。

※設定された後、エンジンを一度オフして、再度次回起動した場合は、設定された表示角度で表示されます

※工場出荷状態にした場合は、メモリ保存は初期化され、初期表示位置に戻ります

※初回起動時や工場出荷出荷状態にした場合、リバース連動時のカメラ角度の初期値は、リヤカメラを水平状態で中心を0°と考えた場合、0°となります





## リバース連動（つづき）

### リバース連動時の映像表示角度調整について

リバース連動で表示されるカメラ表示の角度を変更する場合は、以下の方法で設定をしてください。一度設定すると、初期化しない限り表示角度をメモリ保持（設定記憶）します。

#### ▼映像表示角度変更方法

リバース連動によるリヤカメラ映像画面中に、画面を直接上下ドラッグ操作して映像表示角度を変更することができます。



#### **⚠** ご注意

- リヤカメラの取り付け位置によっては、角度調整を行ってもリバース連動した際、画面表示位置（角度）が下方方向をカバーできない場合があります。その場合は、リヤカメラの取り付け位置やリヤカメラ自体の取り付け角度を調整してください。

## リバース連動（つづき）

### リバース連動時のリバースガイドライン表示について

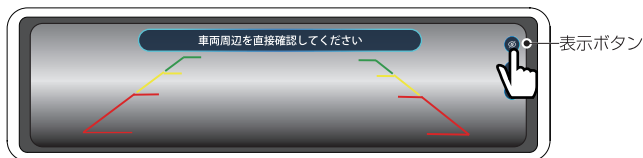
リバース連動した際、後退時のリバースガイドライン（目安線）を表示することができます。

#### ▼リバースガイドライン表示方法

下図の「表示ボタン」をタッチすることで、リバースガイドラインを[表示する]・[表示しない]を選択することが可能です。

カメラを取り付ける車種によって、ガイドラインを変更して、適切な表示に設定してください。

→リバースガイドライン設定について「P31 設定モード」



#### ご注意

- 本機は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ガイドラインはあくまで補助的な目印となります。
- 車種によっては、ガイドラインが正しく合わない場合があります。

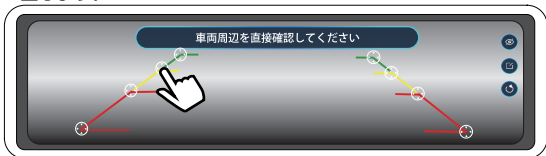
# リバース連動（つづき）

## リバース連動時のリバースガイドライン調整について

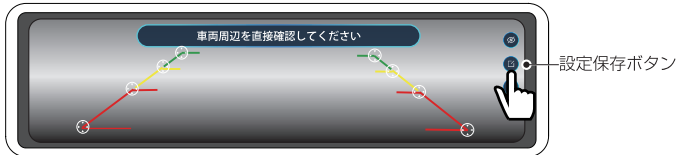
リバースガイドライン（目安線）を調整することができます。

### ▼リバースガイドライン調整方法

1. リバース連動表示調整画面に切り替えます。
2. ○印がマークされている各頂点を直接ドラッグして、ガイドラインの幅や高さを調整します。



3. 調整が完了したら、[設定保存]ボタンをタッチして、調整値を保存します。



4. 調整値を初期値に戻す場合は、[調整クリア]ボタンをタッチします。



### ⚠️ ご注意

- 各調整を行う場合は、必ず、安全な場所に停車し、サイドブレーキを確実に引いた状態かつ周囲の安全を確かめた上で行ってください。
- 走行中は、絶対に操作をしないでください。

## トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	●シガーアダプターの接続不良の可能性があります。	●シガーアダプターを一度外してから、再度接続し直してください。また、シガーソケットに確実に差し込まれているかを確認してください。
	●分岐ソケットを使用していませんか？	●シガーアダプターを分岐されたソケットに接続すると、火災や故障及び誤動作の原因になります。
	●付属のシガーアダプターを使用していますか？	●付属のシガーアダプター以外の電源を使用しないでください。火災や感電及び誤動作の原因になります。
	●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	●本機は「-10℃～+60℃」温度環境下で使用できます。
誤動作をする	●本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。	●電源をオフ→オンしてください。
液晶画面にドット抜けがある	●液晶パネルの特性です。不良ではありません。	—
再起動する 場合がある	●アイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。	●車両の電圧を確認してください。
	●電源が入っている時に、各ケーブルの抜き差しをすると、本体が再起動または電源オフとなる場合があります。	●電源が入っている状態で、ケーブルの抜き差しは行わないでください。思わぬ動作となる場合や故障する場合があります。
他の車載機に影響が出る (テレビが映らない等)	●取付場所はアンテナ、レーダーなどに50cm以内に位置していませんか？	●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感が低下する場合があります。また、ETCアンテナ等から50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。
画面が ちらつく	●電源供給が不安定な可能性があります。	●付属品のシガー電源アダプターを使用してください。 ●分岐されたシガーソケットを使用している場合は、直接車両のシガーソケットに差し込んで使用してください。
	●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	●各ケーブルの接続を見直してください。
リヤカメラが表示しない	●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	●リヤカメラは接続されていますか。 ●各ケーブルの接続を見直してください。

## 製品仕様

品番	DMZ-924	
商品名	デジタルバックミラー	
液晶	10.99 インチタッチパネル IPS 液晶	
レンズ (リヤカメラ)	イメージセンサー 映像画角 F値 フレームレート 解像度	IMX307 (SONY STARVIS™) 対角：135° / 水平：115° / 垂直：65° 1.8 30fps 1920×462
画像補正技術	HDR	
内蔵電源	スーパーキャパシタ	
使用電源電圧	12/24V 対応	
消費電力	最大 5.5W (5V/2A 最大)	
動作温度	-10° ~60°	
外形寸法	本体 リヤカメラユニット	約 255 (W)×85 (H)×37 (D)mm 約 49 (W)×30 (H)×50 (D)mm ※突起部除く
重量	本体 リヤカメラユニット	約 350g 約 35g

※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

※機能改良のため、ファームウェアのアップデートを行う場合があります。詳しくは下記のホームページを参照ください

<http://www.innovativesale.co.jp/>

# MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



# Regeo

販売元：**株式会社イノベティブ販売**

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1  
innovativesale.co.jp

## お問い合わせはサービスセンターへ

### ▼電話でのお問い合わせ

**048-970-5027** (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00  
(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

### ▼メールでのお問い合わせ

**cs@innovativesale.co.jp**